

動画をスキャンください。



Lecture 2

PLES 講義 タスク・ハンドリング力

田中茂範

PEN言語教育サービス代表

慶應義塾大学名誉教授

タスクハンドリング

- 生きる過程は一連のタスクをこなす過程である
- タスクには非言語的なタスク(例. 顔を洗う、歩いて公園まで行く)と言語的タスク(例. 挨拶を交わす、学会発表をする)がある
- 英語力は、英語でさまざまなタスクをこなす力である
- タスクを行うには表現モードを使う

Notes

言語タスクと表現モード

- Reading (comprehension) tasks: RCT
新聞を読む; 論文を読む; チラシを読む
- Speaking tasks: ST
会話をする; 会議で意見を述べる; 商談をする
- Writing tasks: WT
メールを書く; 報告書を書く; パワポを作る
- Listening (comprehension) tasks: LCT
ラジオを聴く; 相手の話を聞く; 授業を聞く
- Multi-modal tasks: MMT

Notes



個別具体的なタスク(ST)

- (職業や興味・関心を含めて) 自己紹介を行う
- 友人との雑談の中で、ある朝のハプニングについて語る
- ある人物の外見と性格を語る
- ある商品の解説を15分で行う
- 好きな男性に自分の思いをしっかりと伝える
- ある会議で司会を務める
- 自分の町の様子
- 特徴を説明する
- 国益に合うように貿易交渉を行う
- 中華料理とフレンチを比較して類似点と相違点について語る
- 学会で研究発表を行う
- パーティーでホストを務める ……………タスク難易度は？

Notes



タスクの難易度

難易度	Easy	1---2---3---4---5---6---7	Difficult
		指標	
Simple（単純な）		1---2---3---4---5---6---7	Complicated（複雑な）
Familiar（親しみのある）		1---2---3---4---5---6---7	Unfamiliar（親しみのない）
Prepared（準備できる）		1---2---3---4---5---6---7	Spontaneous（即興の）
Procedural（手順あり）		1---2---3---4---5---6---7	Free-floating（自在な）

Notes

simple -- complicated

タスク自体の複雑さをみる指標

- ・「ある食べ物の感想を述べる」vs.「2つの食べ物を比較して、両者の違いを述べる」
- ・「若者言葉の『かわいい』を説明する」vs.『義理』と『人情』について説明する」

Notes

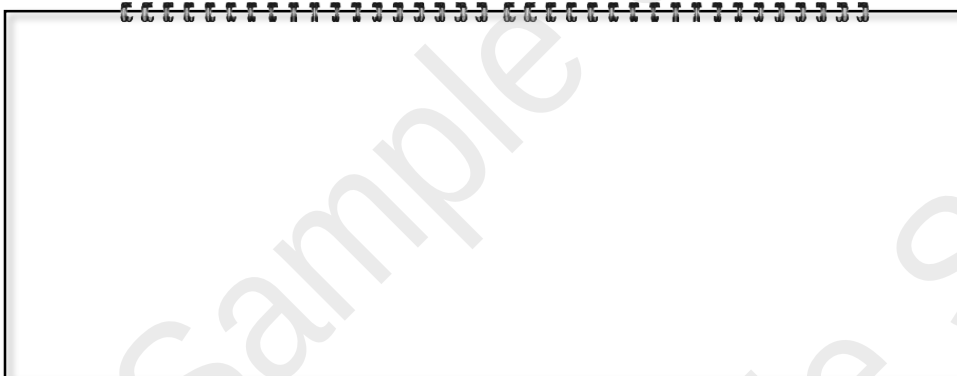
familiar -- unfamiliar

タスクに対する親しみ度の度合いに関するもの

- 「大学で講義をする」
- 「サッカーの実況中継をする」

概して、親しみの高いタスクのほうがそうでないものより難易度が低い

Notes



prepared -- spontaneous

「準備することが可能かどうか」に関する指標

- 「ある結婚式で祝辞の詞をいうのに事前に頼まれている」
- 「あるパーティーの席上で突然『一言をお願いします』とふられる」
- 準備したタスクのほうがそうでないものより概してやさしい
- 学会などで発表はなんとかできるが、質疑応答は苦手であるという場合もここでの指標が当てはまる

Notes



procedural - free-floating

一連の流れが想定できるかどうかという指標

●「会議の司会」と「雑談」

- ・ 会議の司会者が話す言葉はある程度予想がつく。
- ・ 雑談は手続き的な流れに沿って行われることはまれで、偶発性をともなって自由に流れていく。

Notes

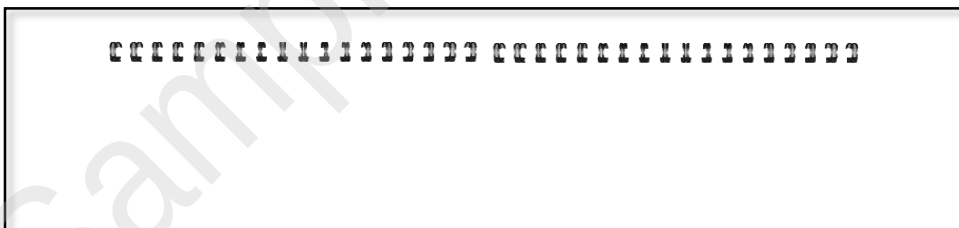


タスク:「結婚式で3分程度の祝辞の詞を英語で述べる」ことを3か月前に頼まれ承諾

Simple (単純な)	1---2---3---4-- <u>5</u> ---6---7	Complicated (複雑な)
Familiar (親しみのある)	1---2---3---4---5---6-- <u>7</u>	Unfamiliar (親しみのない)
Prepared (準備できる)	<u>1</u> ---2---3---4---5---6---7	Spontaneous (即興の)
Procedural (手順のある)	1---2-- <u>3</u> ---4---5---6---7	Free-floating (自在な)

難易度: Easy 1---2---3---4--5---6---7 Difficult

Notes



can-do (TH)とcan-say(LR)がタスクの両輪

タスクと使用する言語リソースに関する情報があって、タスクの難易度やハンドリングの可能性が判断される

- 「1分間の自己紹介ができる」というタスク難度は？
それに言語リソースとしての情報が以下のように加わるとどうか。

task: 1分間の自己紹介をすることができる

can-say: Let me introduce myself.

I'm ..., I work for ..., I'm interested in... because ...
などを使うことができる

Notes

~~~~~

## タスクとタスクハンドリング・スキル

- タスクは無数に存在し、個々のタスクをリストしても英語を学ぶ際にはその場限り(アドホック)なものになってしまう。
- タスクより少し抽象度を上げて、タスクを行うのに求められるスキル面に注目することが必要である。
- スキルはある程度鍛えることができる。
- では、無数のタスクの背後にあるスキルにはどういうものがあるか。

### TASK-HANDLING SKILLS

一群のタスクを行うための汎用性のあるスキル

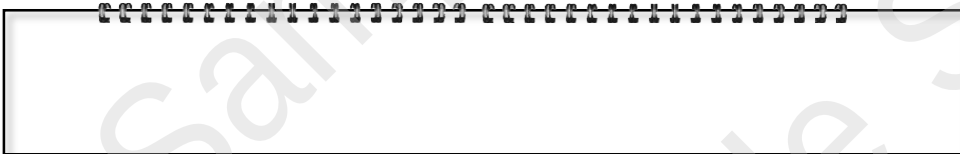
Notes

~~~~~

スピーキングタスクのためのタスクハンドリング・スキル

- 日常会話力 (発問、応答、割り込み、話題展開、話題変更、発話意図など)
- 発表力 (speech, presentationなど)
- 事物描写力 (show & tellなど)
- 概念描写力 (定義、例示など)
- 比較記述力 (優劣、長短)
- 意見表明力 (話題についての考えを述べる)
- 物語展開力 (朝起きての出来事: 記述とコメント)
- 対話力 (ディスカッション、ディベート、立場表明)
- 交渉力 (説得、妥協、提案)
- 議事進行力 (会議、シンポジウム)

Notes



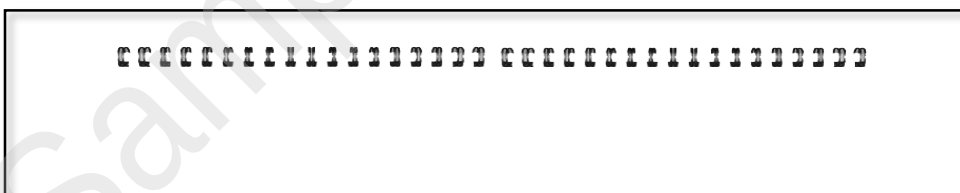
事物描写力

事物描写力とは、何か事物について説明する際のスキル

- 「タイプ(種類)で語る」
- 「直訳する、由来を説明する」
- 「比較する」
- 「用途や使い方を説明する」
- 「素材や形状を説明する」

例えば「ラムネ」について説明を求められたとする。目の前にラムネの実物はない。

Notes



2

事物描写の例

What is “ramune”?

- Ramune is a type of soft drink in a bottle. (タイプ)
- Ramune comes from “lemonade.” (由来)
- In the bottle, a small glass ball is placed at the top of the bottle. (形状)
- It’s a lid. To drink, push the ball down hard with your thumb into the bottle. (用途・働き)

Notes

[illegible]

日常会話力と発表力

- ・日常会話の特徴(spoken interactionのタスクタイプ)
断片性と協働性と偶発性
- ・プレゼンテーションの特徴(spoken productionのタスクタイプ)
目的性と構造的性

Notes

Sample

日常会話力に求められる要素

- 発声力
- 基本語の力を最大利用する
- 慣用表現を利用する
- 断片的に表現を紡ぐ(頭で文を作らない)
- 必要に応じて軌道修正を行う
- 相手の言語リソースを利用する
- 発問を通して会話の流れを作る
- 応答する力

...

Notes



日常会話のタスク
分析を行うことで
指導・学習のポイ
ントがわかる

プレゼンテーションに求められる要素

主な特徴

- Coherence in thematic development (内容構成)
- Delivery and Attitude (pitch, loudness, speed; gesture, eye contact, posture, facial expression; confidence, preparedness) (表現行為)
- Grammatical accuracy (正確さ)

各観点の強弱濃淡をタスクによって調整

Notes



タスクと目的

スピーキングタスクには

狙い(目的)がある: purposeful act The (CEFR)

スピーキングそのもの(表現モード)には目的はない

声を使って表現する

文字を使って表現する

Reading Comprehension Task (RCT)

Listening Comprehension Task (LCT) も同じ

Notes



Reading Comprehensionの目的

1. 情報を得るために読む: 論文を書くため先行研究を読む; どういう割引商品があるかを知るために広告を読む
2. 学習のために内容を暗記するように読む: 教科書を読む
3. 英文の内容を理解し、設問に答えるために読む: 入試問題を解く
4. 分析し批判するために読む: 評論家の読み方
5. 娯楽のために読む: 雑誌を読む、新聞を読む
6. 相手の心(気持ち・要求内容)を知るために読む: 個人的な手紙などを読む

Notes



主体関与的なListening Comprehension

リスニングの役割論

- 日常会話や交渉の相手のように「対話の相手」として
- 何かを学ぶ、何かの情報を得る「学習者」として
- 相手の気持ちを理解する「カウンセラー」として
- 娯楽を目的として「鑑賞者」として

LCTの処理はタスク内容によって異なる。「聞き手(聴き手)」に人間らしさを吹き込む教材・テストの必要性

Notes



Fin

タスクに注目することは

目的のある行為を行うことである

言語タスクは言語表現モードと非言語表現モードを駆使して行われる

Notes

